

第 35 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会

開催記録【部会③】

1 開催概要

- 日時：令和 5 年 9 月 6 日（水）10：00 ～ 12：00
- 場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 ホール 5A
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・谷川 章雄氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授）
委員	・古関 潤一氏（ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー） ・老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） 欠席 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー）
オブザーバー	・文化庁文化財第二課 史跡部門 ・港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・港区街づくり支援部 ・東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・鉄道博物館 学芸部 ・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部
事務局 東日本旅客鉄道(株)	・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部
サポート	・パシフィックコンサルタンツ株式会社

■ 当日配布資料

1) 部会③

- ・ 次第
- ・ 資料 1：第 34 回委員会（8/2）部会③議事録案
- ・ 資料 2：接続形式の検討
- ・ 資料 3：今後の方針

2 議事要旨

2.1 部会③

(1) 開会

- 第 35 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会③を開会する。(事務局 JR)

(2) 第 34 回委員会 (8/2) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

(3) 接続形式の検討について

- 資料から、この場所にしか接続する場所がないことは理解できた。(古関委員)
- 高架橋の場合は自由通路に抵触とあるが、既設の自由通路は解体するのか。(委員長)
 - ← 既設の自由通路は今後も活用され、新設はそれに追加することになる。新設部分は現在工事中である。(事務局 JR)
- トンネルより高架橋のほうが工事は楽なのではないか。(委員長)
 - ← 一概には言えない。条件による。(JR)
- 浜松町駅付近の都市計画決定済みの範囲は、大汐線の敷地だった部分が今後整備されるのか。(文化庁)
 - ← 芝離宮と線路の間が大汐線だが、今後歩行者専用道路として工事が行われる。金杉橋梁を越えたあたり、東芝の本社があった部分で開発が進められており、そこに繋がる計画である。(JR)
 - JR が売却か貸すかして道路が整備されるという理解でよいか。(文化庁)
 - ← 大汐線敷地の一部は区画整理事業により換地している。(JR)

(4) 今後の方針について

- 現在、JR と港区と東京都で工事の進め方や遺構等の確認場所、文献調査などを調整している。今後、JR の協力のもと、急ぎ工事を行う到達立坑と、雑魚場架道橋の部分の調査を行う予定である。これは現地の状況もあるため JR と港区で主に進める。文献については築堤だけではなく薩摩台場との関係も重要になるため、整理して遺構の関係を詳細につかんだうえで、工事の影響や回避方法などを検討しようと思う。(港区)
- 深礎による試掘と、橋台の測量調査とあるが、現時点では情報がないので現状を整理してもらうことから検討を進めたい。雑魚場架道橋は第 5 橋梁を継承し、増設や改良を経て現在に至っていると思っている。正確な図面や写真、石積みの状況を把握するものに

ついてデータを取ってもらいたい。JR で収集している文献と合わせて判断していきたい。(委員長)

(5) その他

<部会①・部会②・部会③終了後>

- 文化財行政から意見をもらう。(委員長)

← ありがとうございました。部会③で雑魚場架道橋や薩摩台場の価値は気にしていきたいと思うので、引き続き調査をお願いしたい。(文化庁)

← ありがとうございました。駅街区やアクセス線では試掘調査等で遺構が明確に検出された場所もあり、法令に基づいて発見届を提出してもらいたい。発見された遺跡は広く周知することが定められているので、港区と協力して進めてもらいたい。(東京都)

← ありがとうございました。引き続き協力して進めていきたい。(港区)

- 高輪築堤の調査に関する概報が完成した。概説高輪築堤では築堤がどういうものをまとめたが、こちらは発掘調査に特化した内容である。今後 Web 公開を予定するので確認してもらいたい。(港区)

(6) 閉会

- 次回委員会は 10 月 4 日 (水) 10 時 00 分より開催を予定する。本日はこれで閉会とする。(事務局京急)

3 議事録

3.1 部会③

(1) 開会

(委員長) 次第に沿って進める。

(2) 第 34 回委員会 (8/2) 部会③の議事録確認

(委員長) 前回の部会③の議事録について修正等の指摘はあるか。

(委員長) 何か修正があれば本委員会が終了するまでに指摘してもらいたい。なければこれで議事録を確定する。

(3) 接続形式の検討について

(事務局 JR) 資料 2 について説明する。

(委員長) 質問や意見はあるか。

(古関委員) わかりやすい写真でよく分かった。この場所しかないことは理解した。

(委員長) 高架橋の検討については、断面図を見ると自由通路に抵触するということだが、既設の自由通路は解体されるのか。

(事務局 JR) 既設の自由通路は今後も活用される。新設は追加されるということである。新設部分は現在工事中である。

(委員長) トンネルより高架のほうが、工事上は楽なのではないか。

(JR) 一概には言えず、条件による。

(文化庁) 資料 2 の都市計画決定済とある部分は、大汐線の敷地だった部分が今後整備されるのか。

(JR) 芝離宮と線路の間が大汐線だったが、歩行者専用道路として浜松町の南側の大門通から入る形で工事をする計画となっている。金杉橋梁を超えたあたりについては、昔、東芝の本社があった部分は開発が進められていて、そこに繋がってくる計画である。

(文化庁) JR が売り渡したか、貸すのかして、道路整備が進められるという理解でよいか。

(JR) 大汐線敷地の一部は区画整理事業により換地している。

(委員長) 他になければ、次に進める。

(4) 今後の方針について

(港区) 資料 3 について説明する。

(委員長) 資料には深礎による試掘を行うということ、橋台の測量調査を行うこ

とが書かれてある。現時点で情報が無いので、まずは現状を整理してもらいことから検討を進めたいと思っている。雑魚場架道橋は第5橋梁を継承していると考えることがよさそうであるため、現状で雑魚場架道橋が増設や改良を経て現在に至っていると思っている。正確な図面や写真、石積みの状況を把握するものについて材料がないため、現状のデータをきちんととってもらいたいことをお願いしたい。JRの方で雑魚場架道橋、築堤、薩摩台場の文献資料を集めてもらっているので、それらも併せて判断をしていくこととしたい。

(委員長) 今後の進め方としては以上とする。

(委員長) 他になければ、次に進める。

(5) その他

<全体会・部会①・部会②・部会③終了後>

(委員長) その他は何かあるか。

(委員長) 他になければ文化財行政から意見をもらう。

(文化庁) ありがとうございました。特に部会③の雑魚場架道橋や薩摩台場の価値については気にしていきたいと思っているので、引き続き調査をお願いしたい。

(東京都) 駅街区やアクセス線では試掘調査等で遺構が明確に検出された場所もある。そうした場所については法令に基づいて発見届を提出してもらう必要があるのをお願いする。発見された遺跡は広く周知することが定められているので、港区と協力して進めてもらいたい。

(港区) ありがとうございました。引き続き皆さんと協力して進めていきたい。

(港区) 高輪築堤の調査に関する概報が完成した。概説高輪築堤で築堤がどういふものかをまとめたが、こちらは発掘調査に特化した内容となっている。今後 Web 上での公開を予定するので、確認してもらいたい。

(委員長) これで終了する。

(6) 閉会

(事務局) 次回の定例委員会は、10月4日(水)10時00分からを予定し、会場は JR 品川開発プロジェクトセンターを予定する。本日はお忙しい中貴重なご意見をありがとうございました。閉会とする。

以上